

またも

## 議会がわれた

P.5に関連記事が



令和3年度  
一般会計決算 認定 ..... 2

9月定例会 ..... 7

桑折町立醸芳保育所等の存続と  
発展を求める陳情調査特別委員会報告 ..... 10

なぜ保育所を民営化するのか ..... 13

一般質問（7名登壇） ..... 21

議会モニターさんからの意見 ..... 21



# 令和3年度

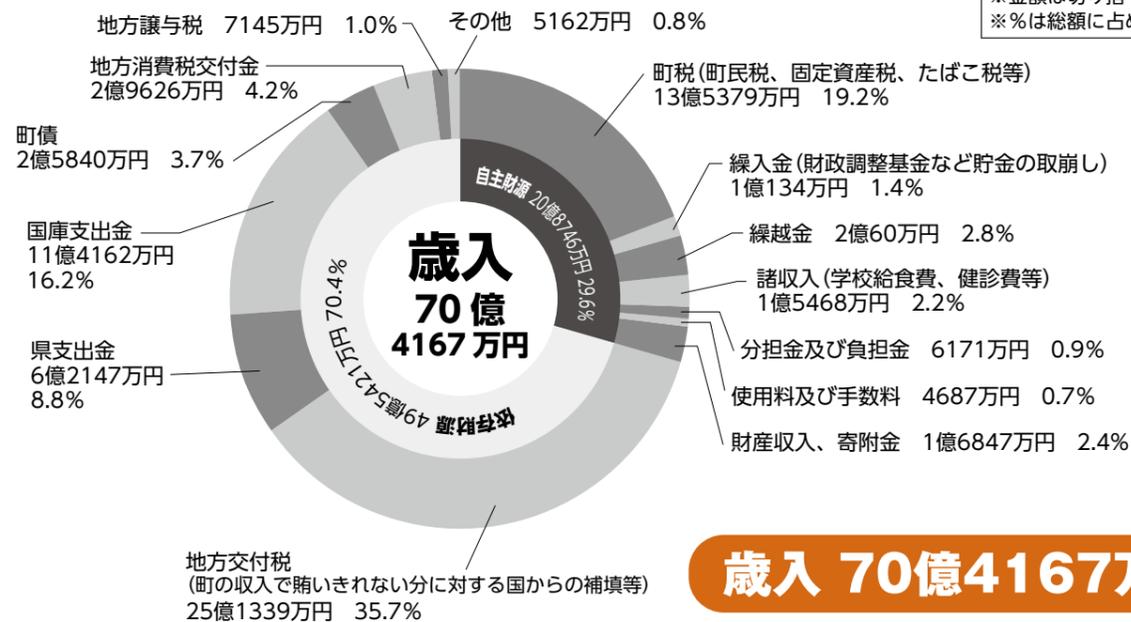
# 決算「住み続けたいまち こおり」を目指し!

**認定**  
賛成5 / 反対5  
議長採決 賛成

## 町税一人あたり年次別比較

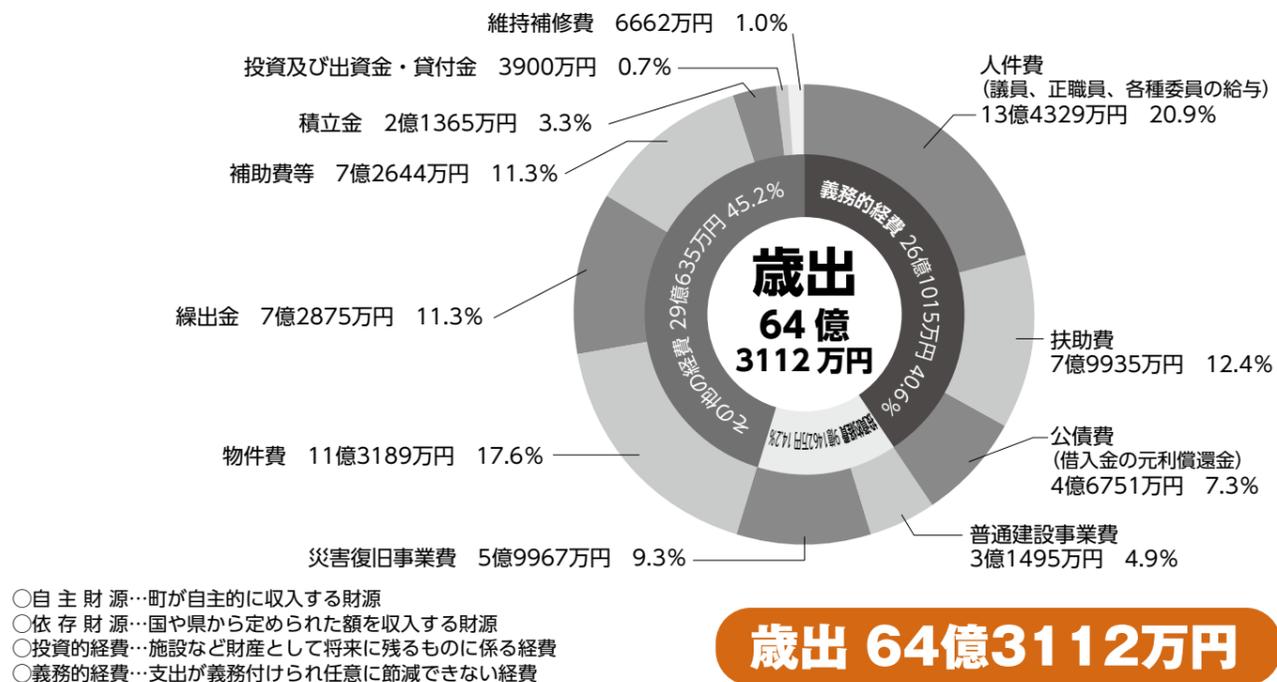
町税一人あたり総額 令和3年度 119,593円 (2,763円の増)  
(令和2年度 116,830円)

※金額は切り捨てで万円まで。  
※%は総額に占める構成比。



歳入 70億4167万円

## 歳出 64億3112万円



歳出 64億3112万円

- 自主財源…町が自主的に収入する財源
- 依存財源…国や県から定められた額を収入する財源
- 投資的経費…施設など財産として将来に残るものに係る経費
- 義務的経費…支出が義務付けられ任意に節減できない経費

## 令和3年度 多く使われた ベスト3

款	本年度決算額	構成比	主な内容
民生費	16億7311万円	26.0%	社会、老人、児童、母子、障がい者福祉関係
総務費	10億5996万円	16.5%	人件費、一部事務組合負担金、指定管理料
衛生費	8億6086万円	13.4%	保健衛生、母子保健、塵芥処理、上水道

## 〈健全化判断比率〉 報告された健全化判断比率

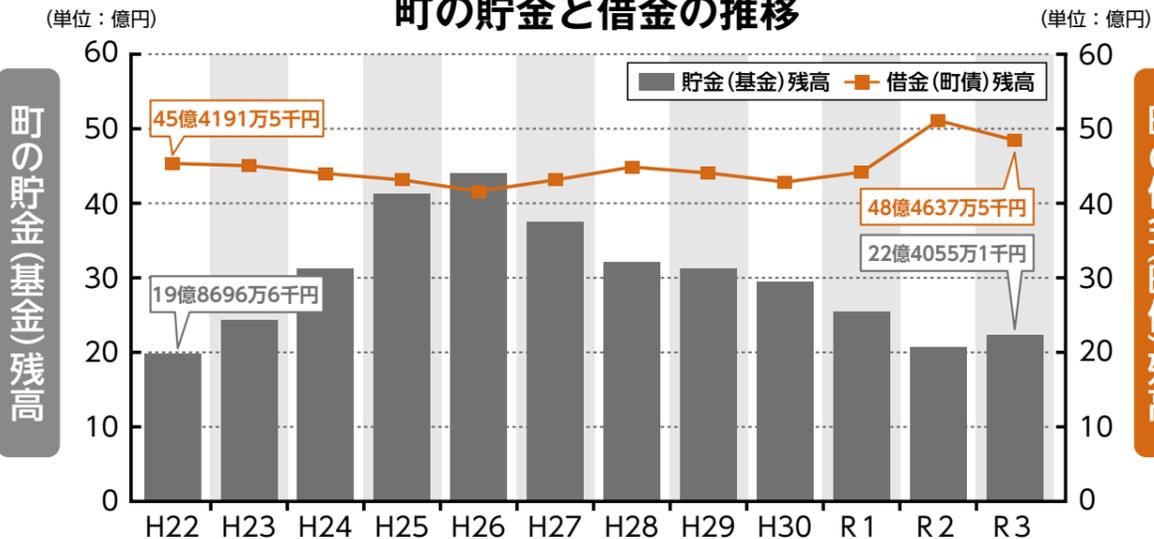
	実質公債費比率 <sup>*1</sup>	将来負担比率 <sup>*2</sup>
令和元年度	10.4%	14.4%
令和2年度	9.6%	36.6%
令和3年度	9.2%	14.0%
早期健全化基準 <sup>*1</sup>	25.0%	早期健全化基準 350.0%

## 主な特定目的基金

基金名	積み増し額	年度末保有額
がんばるふるさと・桑折応援基金	1億2053万4千円	1億3941万4千円
文教施設建設基金(東電からの損害賠償金)	5399万1千円	1億7936万7千円
公共施設維持管理基金(町有地売り払い金)	3765万5千円	1億1246万8千円

※1 実質公債費比率、早期健全化基準…数値が小さいほど固定経費、借金の支払いが小さく財政負担が少なくなります。  
※2 将来負担比率…数値が小さいほど将来の負担が小さくなります。(借金の支払いなどが減っていく)

## 町の貯金と借金の推移



認定までの流れ  
各課への質疑→町長へ総括質疑→採決

# 令和三年度 一般会計決算 総括質疑

岡本貴士議員

鈴木隆志議員

## 感染拡大防止の自己評価は

**問** 令和3年度の施政方針で次のように述べている「令和3年度は、感染拡大防止と経済再生の両立を図りながら、地域社会・経済の再構築に向けた取組みをより一層強化しなければならぬ年である」とここで「感染拡大防止」という観点から、令和3年度の町政運営の評価を伺う。

**答** 様々な年代層で感染者が多く出てしまったことは、誠に残念であった。町独自の感染症対策という意味では、国や県の対応に準じる場所が多かった。ワクチン接種において、国見町と連携することができた。**町民の理解と協力のもと、感染症防止に取り組みたい**のと考える。



未来に向けた羅針盤

## 総合計画と こども園誘致の関係は

**問** 総合計画の役割について、町長はどのように捉えているのか。総合計画に「幼保連携型認定こども園」の誘致が記載されていない。総合計画の性格、町の取り巻く環境や町民ニーズにより柔軟に対応して誘致を図ったのか伺う。

**答** 総合計画は、今後、未来に向かっての町づくりの取り組みにおける最上位計画で、その考えを基にそれぞれの計画も、総合計画が変われば整合性をしっかりと取ってその方向性、ベクトルを合わせ

ながら向かっていく未来に向けた羅針盤とも言えるべき計画である。「幼保連携型認定こども園」の誘致については、**全計画の中で柔軟に対応していくとの指摘、当然それに応じた形において、全計画が存在している。**

佐藤榮三議員

齋藤松夫議員

## 企画提案書に反する事務執行だ



育成中のベニカナメモチ

## ベニカナメモチの 適正管理指導を

**問** 防風林用として配布された、ベニカナメモチも、順調に成長している、数年後には、良好な景観、防風林としての効果が期待できる反面、道路や水路などの障害にな

**問** 奇妙なことに、プロポーザル最優秀者が提案した企画提案書は「民営化」ではなく、松葉福祉会が独自に行う「民営事業」の提案であったとの答弁だ。であれば、現在すすめている保育所等の民営化事業は、「企画提案書」にも、同事業者等と締結した基本協定にも反することとなる。事業者選定も予定より5日早い5月26日に行われ、同日中に、町長宛報告書も作成されていた。最優秀者は、はじめから決まっていたのではないかと。**答** 企画提案を受け最優秀事業者に選定したあと、協議を行い内容を変更した。選定を早めたのは、**説明・質疑の記憶が薄れないうち**に選定したためだ。



町発展のかなめ

斉藤 謙議員

川名 静子議員

## 町民主役のまちづくり

している。物品等購入時にリース利用を研究検討する。**IC周辺の農地転用については、現在国に要請している。**企業誘致に関しては、数社が名乗りを上げている。

## 企業誘致はなぜ進まない

**問** 執行残として残るのは予算化時に問題があるので「財産に関する調査」では、納税者は行政が基金を積むために納税しているのではない。特に目的基金は有効活用をすべきではないか。不用額は予算化した事業が未実施となったことから不用額となるので、事業の進捗状況の強化が求められる。

物品購入時には、リース等の利用研究をすべきだ。相馬福島道路伊達桑折IC周辺への企業誘致が進んでいないのはなぜか。農地転用許可の見直しはあるのか。**答** 執行状況は順調に推移

## 賛成

## 一般会計 決算認定に対する討論

## 反対

<b>齋藤松夫議員</b>	本決算認定案件に対し反対の立場から討論する。第1の理由は総合計画の進行管理において計画からの逸脱があった。新総合計画の議会審議においても、政策会議決定という重要文書を非公表とした。第2は総合計画及び各分野政策としての「第2期子ども子育て支援事業計画」と真逆の幼保民営化政策を推進し、且つ説明責任を果たしていない。第3は、解決すべき課題に取り組みず、20億以上の積立金をつくる行財政運営となっている。	<b>原賢志議員</b> 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の対応に終始した年であり、併せて2度の地震に見舞われ更に厳しい1年であった。その様な中、臨時交付金等を活用しながら災害復旧や経済対策等に取り組むと共に、他の事務事業においても適正・厳格に実施され、一定の効果があつたと評価する。コロナ感染症の終息が見えない状況にあることから、今後も引き続き町民の生活を守り本町の更なる発展と福祉向上に努めることを望む。
<b>鈴木隆志議員</b>	町の最上位計画である令和3年度までの「総合計画」に醸芳保育所廃止、幼保連携型認定こども園誘致が記載されていない。町はプロポーザル決定後、事業者との協議や総合教育会議の意見を踏まえ、町方針を決定し、令和6年4月開園に向け協議している。町は、町民に対し十分な説明責任を果たすことなく、町民の理解を得ないまま、町民を差し置いて事業を進めようとしていることは、町と町民との間に溝を作ることになるので、反対する。	<b>岡本貴士議員</b> 3つの理由から賛成する。1点目は、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、福島県沖地震の被害からの復旧対応、冬季の大雪被害への対応が適切に実施されたことである。関係各位に対し敬意を表します。2点目は、令和3年度の決算状況はおおむね良好な状況であり、それによる財政指標、健全化判断比率も評価できることである。3点目は、コロナ禍の中、例年同様に行政執行できたことである(執行率96.5%)。
<b>川名静子議員</b>	長く赤字続きであった実質単年度収支が黒字になったとは言え、約2億3千万円の不用額、流用、予備費充当等にさらに工夫はなかったのか。税金は町民からの預かり金、また町民全体の奉仕者であることを肝に銘じ事務に当たって欲しい。さらに、「認定こども園」の事務の進め方だ。誘致ありきで進めたことから自ら策定してきた各種計画の整合性がかみ合わない状況が続いている。町の計画なら一つ一つ確実に納得のいく説明が必要だ。町民不在の町政であることから反対する。	<b>半澤高議員</b> 賛成する。民設民営の認定こども園について説明不十分であるとして私自身は「新総合計画」案に対して「反対」の票を投じた。しかし、その後だいたい遅れたとはいえ、説明会の開催や広報こおりでお知らせしたことは事実である。今後、検証のうえ課題や問題点を解決し、進めて良かったと考えられるような町政運営を願って賛成討論とする。
<b>斉藤謙議員</b>	町営の保育所を廃止するとしているが、少子高齢化時代において、将来のまちづくりに関して、大変なリスクがあるものと思料され、町営保育所廃止に反対とします。	<b>議長</b> 認定第1号「令和3年度桑折町一般会計歳入歳出決算認定」については、定例会初日に町監査委員報告で「歳入歳出の計数は関係諸帳簿と合致しており相違ない」と認められ、更に事務事業においても概ね良好に執行されているとの報告がされた。また、9月7日、9日の2日間に行われた決算認定所管別質疑、本日の総括質疑においても各事業執行に対して重大な過失は見られなかったと判断し、よって本案について議長は認定すると裁決する。



# 令和3年度 特別会計決算

		歳入	歳出	差引残金
国民健康 保険	決算額	14億676万3千円	13億6519万6千円	4156万7千円
	概要	予算額に対し1.5%の増となった。(収納率は84.3%)	予算に対する執行率は98.5%、主な歳出は保険給付費等71.0%	次年度に繰越した
後期高齢者医療	決算額	1億7488万9千円	1億7290万7千円	198万3千円
	概要	予算額に対し0.2%の減、収納率は99.7%となった。	予算に対する執行率は98.7%、主に後期高齢者医療広域連合納付金が94.9%を占める。	次年度に繰越した
介護保険	決算額	16億6752万1千円	16億457万6千円	6294万6千円
	概要	予算額に対し0.9%の減、収納率は99.0%となった。	予算に対する執行率は95.4%、主に保険納付費が92.0%を占める。	次年度に繰越した
公共下水道 事業	決算額	3億1545万円	2億9280万2千円	2264万8千円
	概要	予算額に対する収入割合は106.9%となった。	予算に対する執行率は99.2%となった。	次年度に繰越した

	決算概要	収益的収支	資本的収支	令和2年度 剰余金処分
水道事業	有収率は84.8%で前年対比3.7%減少、地震による漏水等の拡大が影響した。	収入 3億4371万5千円 支出 2億9702万3千円 純利益 4669万2千円 (税抜き)	1億1639万9千円の不足が生じ、損益勘定留保資金、積立金で補填した。	建設改良積立金に4119万8千円を積立、残金を次年度に繰越した。

## 令和3年度 決算審査

### 行財政運営を評価

予算の執行・関連事務処理は適正

#### 一般会計

歳入歳出ともに減少。歳入減は、福島県沖地震復旧交付金減少、コロナ感染症対策交付金、庁舎建設基金の減少などである。

歳出減は、コロナ特別対応交付金減少、新庁舎整備事業の終了による事業費減少などである。

#### 水道事業会計

収益的収支では純利益となった給水人口、有収水量、有収率はいずれも減少している。

今後も長期的な経営の安定を図るため、継続して事業運営の合理化、効率化に努める必要がある。

#### 財政健全化審査

- 実質赤字比率
  - 連結実質赤字比率
  - 実質公費比率
  - 将来負担比率
- 右記のいずれも早期健全化基準から見た健全性は保たれている。

桑折町監査委員

紺野 範明  
佐藤 武朗

監査委員の意見書(要旨)

# 9月 定例会

令和4年8月30日～9月13日

## 提出議案

決算認定6件、条例改正1件、その他2件(契約変更、水道事業未処分利益剰余金の処分)、補正予算4件、報告1件、同意1件、発議1件、議員派遣、中間報告、辞任の19件を承認・可決・同意した。

## 条例改正

◆町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

改正の概要

- ・非常勤職員の子の出生後、57日以内の育児休業取得要件の緩和
- ・非常勤職員の子が1歳以降の育児休業取得要件の緩和

質疑 現在の育児取得実態は、特に男性の取得は。全職員への周知と適正な運用等の質疑がされた。

## 工事請負契約の一部変更

◆重要文化財旧伊達郡役所災害復旧保存修理工事請負契約の一部変更

- ・工事開始後の解体・詳細調査の結果、新たな修理箇所が出たことから工事費の増額と工期の延長が必要となった

- ①災害復旧工事
- 2023万2671円の増
- ②保存修理工事
- 1347万3529円の増

## 増額の合計

3370万6200円

災害復旧・保存修理総工事費 1億2225万6200円

工期の延長 令和4年11/30↓12/20

質疑 変更ありきの入札だったのか。民間なら自分の見落としになるが。再度出る可能性はあるか。工期は守れるのか等の質疑がされた。

## 同意

町教育委員会委員の任命

次の者の任命に同意した

陸合地区

氏名 柴田 宣広

任期 令和8年9月迄

## 令和3年度 剰余金処分

水道事業会計未処分利益剰余金の処分

- ・当年度未処分利益剰余金 1億2075万3千円

内訳

- ・建設改良積立金 4169万2千円
- ・資本金 906万1千円

## 報告

令和3年度町一般会計等歳入歳出決算に伴う健全化判断比率及び公営企業会計等に係る資金不足比率について

○水道事業会計、公共下水道事業会計共に資金不足はない

## 補正予算

◆一般会計(第6号)

ワクチン接種経費<sup>プラス</sup>

杭原検査キットを町で準備

歳入歳出予算の総額に、それぞれ1億4086万7千円を追加し、予算総額を69億7754万9千円とするもの

- 《主な歳入》
- ・普通交付税 1億5133万3千円
  - ・新型コロナウィルス ワクチン接種対策費 国庫負担金 2583万円
  - ・がんばるふるさと・桑折 応援寄附金

- 2007万7千円
- ・財政調整基金繰入金 ▲1億4600万1千円
  - ・臨時財政対策債 ▲820万円
- 《主な歳出》
- ・基金管理費 2007万7千円
  - ・社会福祉総務一般費 760万円
  - ・(高齢者福祉施設等原油高騰対策支援事業 16事業所)
  - ・新型コロナウィルス 感染症予防事業費 4198万8千円
  - ・商工振興対策費 522万5千円
  - ・(運送事業者等支援金給付事業)
  - ・小学校災害復旧費 2000万円
  - ・(伊達崎小学校災害復旧事業第3期工事)
- 質疑
- 光熱、燃料費の積算の仕方、小型除雪機の管理は、工事時期からみた補正の上げ方、子育て支援計画の見直しの部分等についての質疑があった。

討論

一般会計  
補正予算に対して

反対 齋藤松夫議員

民営化をすすめる根拠への答弁は「第2期子ども子育て支援事業計画にある多様な主体導入方針にあり」であった。今回の答弁で「第2期計画見直しで保育の民営移行方針をうたう」が出たことで、これまでの答弁が事実を偽るものであったことは明らかだ。よって本補正予算に反対の態度をとる。今回日本共産党議員団が自ら進んで自己批判したように、町長・副町長もまた同様に、これまでの誤りを認め謝罪すべきである。 賛成6 反対4

《歳入》  
・繰越金 56万7千円  
《歳出》  
・償還金 56万7千円

◆後期高齢者医療特別会計(第1号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ171万5千円を追加し予算総額を1億8799万円とするもの。  
《歳入》  
・繰越金 171万5千円  
《歳出》  
・広域連合納付金 171万5千円

◆介護保険特別会計(保険事業勘定)(第1号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ3181万2千円を追加し予算総額を17億3048万4千円とするもの。  
《主な歳入》  
・県支出金 48万9千円  
・繰越金 3127万9千円  
《主な歳出》  
・償還金 1566万1千円  
・繰出金 1557万4千円

◆国民健康保険特別会計(事業勘定)(第2号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ56万7千円を追加し予算総額を13億5684万1千円とするもの。  
《主な歳入》  
・繰越金 1566万1千円  
・繰出金 1557万4千円

町議会議員の派遣

1 町村議会議員研修会

- (1)派遣の目的 町村議会議員研修会
- (2)派遣の期間 令和4年10月24日(月)
- (3)派遣場所 ビッグパレットふくしま
- (4)研修内容 ①議会改革・地方自治関係について(仮題) ②日本政治の行方(スバリ解説)政局の焦点
- (5)派遣議員 議会議員全員

2 地方自治研究交流セミナー

- (1)派遣の目的 第1回地方自治研究交流セミナー
- (2)派遣の期間 令和4年11月4日(金)
- (3)派遣場所 桑折町屋内温水プール・多目的スタジオ
- (4)研修内容 ①地方議会を含む行政のDXについて(仮題)
- (5)派遣議員 議会議員全員

第17回 伊達郡町議会議員大会 7/20

伊達郡3町(国見町・川俣町・桑折町)の議員大会が川俣町中央公民館において開催された。主催は伊達郡町村議会議長会。

- 1、主要地方道及び一般県道の整備促進について
- ・伊達崎橋の整備について
- ・県道拡幅及び歩道設置について
- 2、地域医療の確保について
- ・公立藤田総合病院への常勤医師の確保等県の強力な支援の要望

大会では、各町議会より5項目6点の要望事項が提出された。さらに、決議、特別決議も提案され、すべて全会一致で可決承認された。要望事項等に関しては、今後各町議長により、県の関係各部署等に対して要望活動を行う予定である。コロナ禍において、恒例の講演を中止、短時間での開催となった。



佐藤榮三委員長

桑折町議会から提出した要望事項は次の通りです。



第17回伊達郡町議会議員大会

委員会活動報告

総務文教常任委員会 委員長 斉藤 謙

8/19 開催  
閉会中の所管別事務調査「子ども子育て支援事業のあり方」についての調査途中において、「桑折町立醸芳保育所の存続と発展を求める陳情調査特別委員会」の調査を優先する必要があることからの、所管別事務調査を一時中断していた。報告が完了したことから今後、調査を再開し、報告に向け進めていく。

議会運営委員会 委員長 半澤 高

6/20・28 7/11・12・14 8/2・22 開催  
7月に実施した川俣町議会・予算決算常任委員会の視察を経て、桑折町議会として早急に取り入れるべきとして、次の2点を町と協議中である。  
① 定例会・臨時会での議案書配布をはやめる。  
(定例会の議案書配布 川俣では開会7日前、桑折では5日前)議案書配布をはやめることにより、十分な議案調査時間が確保でき、効

なお、閉会中の所掌事務調査事項として「一般質問のあり方」を追加した。傍聴やインターネットで見ている町民の方々が聴きやすくなるように一般質問のあり方に関して調査する。

広報広聴常任委員会 委員長 川名 静子

6/20・24 7/1・8・12 開催  
「議員」と「議会モニター」の皆さんとの懇談会を8月10日イコーゼにおいて開催した。今年度初めてお互いの顔を合わせた。事前にテーマ毎にまとめ参加を頂いた。テーマは

- ・議会活動全般へ望むこと
- ・「議会だより」への感想・意見等です。
- ・頂いた意見・感想等はP21に掲載しております。お読みください。
- ・モニターの皆さんからの意見は、議場での声が聞きづらい、同じ内容の質問が多い、「認定こども園」の事、議員の事が分からない、広報で紹介しては。何かを伝えたい時の手段がない等率直な問題点を出して頂いた。「議会だより」の性格を守りながら分かり易く、多くの方に読まれる紙面づくりを進めていく考えだ。

委員会調査報告

産業厚生常任委員会 委員長 佐藤 榮三

- 1 調査事件 新規就農者の確保について
- 2 調査目的 地域農業を守るため
- 3 調査経過 省略
- 4 調査結果 本委員会は、本町の農業を守るためのひとつの方策として、新規就農者の確保が必要との視点から調査を進めてきた。
- 1 調査事件 新規就農者の確保について
- 2 調査目的 地域農業を守るため
- 3 調査経過 省略
- 4 調査結果 本委員会は、本町の農業を守るためのひとつの方策として、新規就農者の確保が必要との視点から調査を進めてきた。
- 1 調査事件 新規就農者の確保について
- 2 調査目的 地域農業を守るため
- 3 調査経過 省略
- 4 調査結果 本委員会は、本町の農業を守るためのひとつの方策として、新規就農者の確保が必要との視点から調査を進めてきた。

# 特別委員会調査報告

## 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策調査特別委員会 委員長 齋藤 謙

### 中間報告

- 1, 調査事件  
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策に関する調査について
- 2, 調査の目的  
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策に関する調査のため
- 3, 調査の経過  
令和2年6月、特別委員会を設置、26回開催し協議・検討を行った。
- 4, 調査の結果
  - ① 医療体制  
ワクチン接種率を上げ、基本的な行動を厳守する。
  - ② 教育環境  
児童生徒の感染拡大防止を呼びかけるとともに、タブレット端末を有効活用する。
  - ③ 防災(避難所)  
コロナ禍での避難所受付・対応の確認、簡易テントの張り方等
  - ④ 福祉政策  
コロナの影響で生活困窮者となった個人・事業所へ町独自の支援策を議論し、実施に至った。
  - ⑤ 産業  
商工会メンバーと意見交換を行い、実態状況を聴収した。利子補給、保証料補助等効果のある事業展開に至った。また、7月に「臨時交付金活用による町内事業者支援への要望書」を町長宛提出した。なお、当町におけるコロナ感染者数も、8/23日現在607人となり急激な増加傾向を示している。感染者及び濃厚接触者に対する対応等の支援・指導が不十分との声がある。町民に寄り添うことを最優先に見直す必要がある。

### 辞任届

桑折町議会委員会条例第11条(理由)  
第2項の規定により、令和4年9月13日をもって、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策調査特別委員を辞任いたした。ここに届け致します。  
桑折町議会議員 岡本貴士

賛成1、反対8

### 否決

## 桑折町立醸芳保育所等の存続と発展を求める陳情調査特別委員会 委員長 齋藤 謙

賛成5、反対5、議長反対

特別委員会開会年月日	第10回	9月1日
第1回	令和4年6月20日	付託された事件
第2回	6月27日	陳情第2号 桑折町立醸芳保育所等の存続と発展を求める陳情書
第3回	7月5日	
第4回	7月13日	
第5回	7月21日	3 審査の結果
第6回	7月26日	採択すべきものと決した
第7回	8月4日	
第8回	8月15日	
第9回	8月23日	



### 賛成

## 陳情「特別委員会 委員長報告」に対する討論

原 賢志 議員	鈴木隆志 議員
陳情者が感じている、将来への不安やオミクロン株等による不安を解消するには直営でなければならないとの点について調査では明確になっていない。現状の保育所においては、ハード面での不安があると認識している。民設民営においても乳幼児の安全・安心の確保のためにはしっかりと対応していると認識している。よって陳情審査結果に対して反対する。	醸芳保育所の廃止等、政策会議で決定したことだからと選択肢を与えず、一方的に押し付けるのではなく、町民及び今後利用する保護者の意見を尊重し、判断すべきものと考ええる。 町は、今後に於いても、その都度、説明会を開催し、説明責任を果たしていく必要があると考える。 醸芳保育所を廃止することなく、利用状況を見極め、乳幼児保育の取り巻く環境や町民ニーズに沿って、適時、柔軟に対応していくことを願い賛成討論とする。
佐藤武朗 議員	川名静子 議員
殆どの町村では、民設民営での認定こども園の計画は難しい。 今回の認定こども園が開設されることは、本町の将来に期待があるからこそ民間事業者の進出であり、とても明るい事業である。人口減少の歯止め、民間企業の進出等に期待、若者の移住・定住に繋がる。数年先に町が計画した場合にはむしろ嬉しい。将来を見据えた計画変更であれば、民間のスピード感をもって取り組むべきである。また、プロポーザルは積極的に取り組むべきである。	委員長報告に賛成する。 陳情付託から約半年、調査の結果から「認定こども園」誘致ありきで事務が進められてきた。町営で運営してきた保育所を民間に移行させる。歴史的な大転換である。しかも短期間での決定。事前に説明するのが順序ではないか。教育立町と言われる歴史ある幼児教育方針も、「醸芳」の名称まで民間に、町政を預かるものとしてプライドはないのか。宗教団体に理事長が関わっている事にも、「信者でないから運営上問題ない」と。幼児期は脳が育つ時期、不安は除外し環境を整える事が責務であることから、教育は町が責任をもって行うべきである。
半澤 高 議員	齋藤松夫 議員
当初、私は当陳情に対して「趣旨採択」のような判断をしたいとして特別委員会での採決時に退席し、本会議でも退席する予定だったが直前の全協での議長の「議員であるならば退席せずに議決に加わるべきだ」との話を尊重し議決に加わる事とした。 「反対」である。理由は議会として新総合計画を可決しているからである。また、一般質問での事実確認不十分な発言も反対とする要因となっている。	三つの理由で委員長報告に賛成である。 第一、本陳情は桑折町がつくった「第2期桑折町子ども子育て支援事業計画」を全面的に支持する陳情である。この計画に反対しているのが町長である。よって採択は当然のことである。 第二、計画無視の事務執行は町政不振を町民に抱かせる結果だ。採択すべきの報告は、この現状を打開するものである。 第三、この陳情を採択することこそ、議会の権威と品位を高めるものとなる。
議長	
陳情第二号について、昨年九月定例会での「町新総合計画」審議の際、町立醸芳保育所を「存続か・民間移行か」が大きな争点となった。結果、議会としては、「移行する。」と記載された「新総合計画」を議決した。 その後も各定例会等にて「存続か民間移行か」の質疑、応答が繰返されたが、大多数の議員が納得するような計画への瑕疵は、確認されず現在に至っている。よって「新総合計画」を議決した議会議長として真逆の内容である委員長報告は否決する。	

## 齋藤松夫議員の要職の辞任を求める決議(案)

提出者 佐藤 武朗  
賛成者 佐藤 榮三

びと総務文教常任委員会の副委員長の職を辞するとの発言があった。しかし、日本共産党議員団の同僚議員の発言を用い、追求を行ったとは言え、同等の責任に値すると考える。

この一連の発言は、歴史ある桑折町議会の品位と権威を著しく損なうものである。

よって、桑折町議会は、齋藤松夫議員が本会議で総務文教常任委員会の副委員長の職を辞する発言をしたが、桑折町議会選出である一部事務組合の「公立藤田病院組合議会」議員の職も自ら辞することを強く求める。

以上、決議する。

令和4年9月13日

桑折町議会

今定例会の9月1日に行われた一般質問において、岩崎久男議員が町立保育所の民営化問題を取り上げ、新たに認定こども園を運営する社会福祉法人の理事長に関して追求した。岩崎久男議員は5日の本会議の冒頭で、一般質問の中で理事長に関しての発言に「事実誤認」があったとし発言の撤回。および、理事長に対してのお詫びと発言に対する責任の取り方として、定例会閉会後に議員を辞職する旨の大変重い決断をした。

日本共産党の同僚議員である齋藤松夫議員も、同日の一般質問の中で岩崎久男議員の理事長に関しての「事実誤認」の発言内容をもとに、同法人の理事長について追求した。

齋藤松夫議員も5日の本会議の冒頭に岩崎久男議員同様に発言の撤回。社会福祉法人の理事長に対してのお詫

一般質問

# 町政を問う 60分

- ◇議員が事前通告した内容に基づいて、一人持ち時間60分でされます。
- ◇内容は、質問者の責任において作成されたものを掲載しています。
- ◇質問項目は、通告によるものです。
- ◇議会ホームページ(録画)で過去一年分までご覧いただけます。



詳細はこちら

登壇議員	質問項目 ○印の質問の概要を掲載しています。
齊藤 謙 議員 (14ページ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①. 全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)の結果等に関して</li> <li>②. 町長の特別授業等に関して</li> <li>③. 自治体の契約事務等に関して</li> <li>④. 町立保育所の民営化等に関して</li> <li>⑤. 財政運営等に関して</li> </ul>
鈴木 隆志 議員 (15ページ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①. 新型コロナウイルス感染による自宅療養者等に対する支援体制について</li> <li>②. コロナワクチン接種後の副反応及び新型コロナウイルス感染による後遺症に対する支援体制について</li> <li>③. 熱中症対策及びコロナ感染拡大時におけるエアコン利用拡大について</li> <li>④. 認定こども園の今後の対応について</li> <li>⑤. 休日の公立中学校部活動地域移行の対応について</li> </ul>
川名 静子 議員 (16ページ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①. 各地区で開催された「認定こども園」の説明会をどのように総括し生かしていくのか</li> <li>②. 教育行政全般に関して</li> <li>③. 人口約11,000人の町でコロナ感染者数の割合が多いのではないか、対策は十分に行われたのか</li> <li>④. 第3次男女共同参画プラン策定業務に関して</li> </ul>
岡本 貴士 議員 (17ページ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①. 町民の84.0%の方が物価上昇を「とても感じる」と答えた(7/12新聞折込による独自調査)。この結果に対する町長のお考えを伺う。</li> <li>②. 町民の声「大雨災害のニュースを見て、不安を感じる」をお預かりした。このような不安を抱く町民に対する町長のお考えを伺う。</li> <li>③. 町民の声「農業振興を考えるなら、町による農地の基盤整備を進めてほしい」をお預かりした。この声に対する町長のお考えを伺う。</li> <li>④. 私は、新聞折込チラシ、ホームページ、SNS、FAXなどで、ご意見を頂戴している。町の広聴活動の取り組みを伺う。</li> </ul>
半澤 高 議員 (18ページ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①. 新型コロナウイルス感染症対策について</li> <li>②. 福島蚕糸跡地開発と民設認定こども園開園の諸問題について</li> <li>③. 福島西道路の北伸と「4号国道 福島北道路」の整備について</li> </ul>
岩崎 久男 議員 (19ページ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①. 第2期こども子育て支援事業計画との関連について</li> <li>②. 汚染水の海洋放出は反対すべきである</li> <li>③. 原発事故から11年目を迎えて</li> <li>④. 東北電力(株)に対する損害賠償請求について</li> </ul>
齋藤 松夫 議員 (20ページ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①. 「いままぜ、保育所等の民営化なのか」についての、町民への説明が、今般開催の説明会でも行われなかったことについて</li> <li>②. 町有地利活用プロポーザル審査委員会審査及び最優秀事業者選定は、「出来レース」だったのではないかと疑念が、浮上していることに関して</li> <li>③. 本町で民営認定こども園を開設する松葉福祉会理事長が、旧統一教会のイベントに参加していることが、本人のフェイスブックで確認されたことについて</li> <li>④. 令和4年度醸芳中学校教育課程に照らして理解しがたい、8月24日開催の「町長授業」について</li> <li>⑤. 気候変動下において頻発する大雨対策について</li> </ul>

反 対	「要職の辞任を求める決議」 に対する討論	賛 成
岡本貴士議員	反対する。全議員は反省するべきだ。調査不足によって問題発言をした議員に対して、他議員が調査せず、早期に責任を問うことに疑問がある。再び、調査不足という同様の過ちを犯そうとしているのではないだろうか。また、決議案の内容に矛盾点があり、賛成できるものではない。	原 賢志議員 今回の問題発言に対する責任は自らの判断で行ってほしい。岩崎議員は自ら辞職される。桑折町議会の組織として要職を担っていただいている。引続き本議会の代表として藤田病院議会に参画頂くことは身内に甘いのではないかと。ご自身が責任を感じているのであれば、長年議員をされてきた方が自ら要職を辞すべきである。今回のことを議会全体の教訓として捉えるべきである。
齊藤謙議員	私はこの決議案には反対する。 地方議員の住民自治の責務を果たしていくためには、議会として要職の辞任を求めるべきではない。裁判でも情状酌量があり、これまでの議員活動を踏まえ判断すべきである。	反対6、賛成3

## 議案審議結果表

### ○賛否の分かれた議案

議案名	議員名	岡本貴士	鈴木隆志	岩崎久男	齋藤松夫	佐藤武朗	齊藤 謙	佐藤榮三	川名静子	半澤 高	原 賢志	議長	可否
議案第41号 令和4年度桑折町一般会計補正予算(第6号)		○	○	●	●	○	●	○	●	○	○	—	可決
認定第1号 令和3年度桑折町一般会計歳入歳出決算認定について		○	●	●	●	○	●	○	●	○	○	○	可決
陳情第2号 桑折町立醸芳保育所等の存続と発展を求める陳情書		●	○	○	○	●	○	●	○	●	●	●	否決
発議第3号 齋藤松夫議員の要職の辞任を求める決議(案)		●	●	●	—	○	●	○	●	●	○	—	否決
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策調査特別委員の辞任について		—	●	●	●	●	●	●	●	●	○	—	否決

○:賛成 ●:反対 □:討論者

### ○全会一致で可決の議案

議案名	討論者	議案名	討論者
議案第39号 桑折町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例		認定第5号 令和3年度桑折町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	
議案第40号 重要文化財旧伊達郡役所災害復旧保存修理工事請負契約の一部変更について		認定第6号 令和3年度桑折町水道事業会計決算認定について	齋藤松夫
議案第42号 令和4年度桑折町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)		議案第38号 令和3年度桑折町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	
議案第43号 令和4年度桑折町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		報告第5号 令和3年度桑折町一般会計等歳入歳出決算に伴う健全化判断比率及び公営企業会計等に係る資金不足比率について	
議案第44号 令和4年度桑折町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第1号)			桑折町議会議員の派遣について
同意第10号 桑折町教育委員会委員の任命について			特別委員会調査中間報告について
認定第2号 令和3年度桑折町国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算認定について			所管事務調査報告について
認定第3号 令和3年度桑折町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について			閉会中の所管及び所掌事務調査の申し出について
認定第4号 令和3年度桑折町介護保険特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算認定について			

※報告は採決なし



齊藤 謙 議員

## なぜ保育所を民営化するのか 施設の老朽化や保育ニーズから

**問** 計画の白紙撤回の考えはないか。

**答 町長** 「これからの幼児保育・教育の在り方に関する町の方針」に基づき予定通り進めていく。よって、計画の白紙撤回はない。

**問** 事業者代表の旧統一教会との関係はどのようになっているのか。また、高橋町長は、統一教会との関わりはあるのか。

**答 町長** 去る8月17日松葉福祉会理事長が来庁し、事実関係の説明を受けた結果、運営上問題ないものと判断した。私は一切関わりは持っていない。



## 全国学力・学習状況調査の結果は 小・中とも全教科で全国平均を上回った

**問** 当町が教育の町と言われる要因は何か。また、町史によれば幼稚園が県内でも2番目に設置され、しかも設置費用は多くの町民の寄付によるものとされている。

**答 教育長** 良好な教育環境の形成に繋がっていることに加え、教育委員会・学校間で密接な連携を図ることにより、関係者が協力して質の高い教育の実施に努めている。さらに歴史と文化の町としての伝統が教育に対する町民の関心の高さや教育重視の町の施策に生かされている。

**問** 今回の学習状況調査を踏まえ、どのように対応をしていくのか、知っていても行わなければゼロ、行っても成果がなければゼロ、成果があっても反省がなければやがてはゼロになるという教えがあるが。

**答 教育長** 現在分析中、なぜ良かったのか等を踏まえ一層の充実を図っていく。

**問** 電子黒板等の使用頻度及びデジタル端末での公務システムの有効活用はどのような状況か。

**答 教育長** 日常的に授業で使用するほか、リモートによる集会や儀式的行事でも使用している。また、公務システムへの有効活用は、連絡・連携を取り、充実強化を図っている。

**これも質問**

**問** 落札率が高くなる理由は

**答** 予定価格を定めている

**問** 町長選挙前に町長の特別授業を開催する理由は

**答** 教育委員会等からの提案を受けた

**問** 実質単年度収支5年間マイナス改善は

**答** 財調基金取崩額極端消化により黒字に転換した



鈴木隆志 議員

## 町民への説明会開催後の対応は ていねいに説明会を開催する。

7月開催の説明会で、町民から疑問・不安に思うことについて、多数質問がなされたことから次の点伺う。

**問** 今後の説明会のあり方について、どのように検討し実施していくのか。

**答 町長** 今後について、事業内容が固まってくれば、施設のあり方等のハード面更に、運営上の問題等のソフト面について進捗状況に合わせ、引き続き、ていねいに説明会を開催し説明していく。

**問** 説明会に参加できなかった町民に対し、説明会での質疑応答について周知を図る必要があると考えるが、対応はどうしているのか。

**答 町長** 町民説明会で配付した資料はもとより、質疑応答について、内容をわかりやすくQ&Aにまとめ町ホームページに掲載する。さらに、幼稚園、保育所の保護者に文書を配付して周知を図っている。

**感染者自宅療養への支援体制は  
広報、HP等情報発信に努める。**

町内において、コロナ感染者が増加している中において、自宅療養者等の対応が急務と思われることから次の点伺う。

**問** 県から、食料や日用品等、自宅療養に備えた生活支援体制等についての情報が、町民あて十分に周知されていないのではないか。

**答 町長** 広報こおり等、感染症対策の徹底が重点となっていることから、今後において、ホームページ等様々な情報媒体を活用し、わかりやすい広報に努めていく。



今後もていねいな説明を

**これも質問**

**問** ワクチン接種後の副反応、後遺症の対処は

**答** 県及び保健所と連携しながら相談対応する

**問** 熱中症対策及びエアコンの利用拡大に向けて

**答** ホームページ及び広報紙等で周知・啓発する

**問** 休日の公立中学校部活動地域移行は

**答** 今年度中に関係者協議会を設置し、検討する



川名 静子 議員

## なぜ民設に「醸芳」の名称を決めるのは事業者だ

**問** 4カ所で行われた説明会は、わずか一時間、参加者少数、理解できる説明になつたのか次の点を伺う。

**答** 町長 保育園を建て替えた場合、町負担はいくらか。

**問** 全移行することから試算はしていない。全額町負担だ。

**答** 町長 保育園機能を完備しても保育所120名幼稚園75名の定員、在勤者のお子さんを預かる枠はない。不安を与えてるだけではない。

**問** 町長 町内在住者を優先し定員に余裕があれば在勤者も可能だ。

**問** 町の関与が不可な中で園児に対し平等な指導ができるのか。



明治9年 明治天皇が現小学校にお休みになつた際、木戸孝允が「醸芳」と揮毫された

**答** 教育長 「幼稚園教育要領」等の基本は共通的に行われる。各施設の創意工夫も加え、連携し切磋琢磨し実施されるものだ。

**問** 「醸芳」の名称を使う意図は。

**答** 町長 本町にとり由緒ある言葉だから使用の要望を踏まえ受け止めて頂いた結果だ。決めるのは事業者だ。

**問** 今社会的に問題となっている宗教団体と理事長との関わりが明らかになった。園児、保護者への影響力はないと判断するのか。

**答** 町長 本人が来庁し事実関係の説明を受け信者ではないことを確認、運営上問題はないと判断した。

## コロナで自宅療養者への支援は保健所と連携し不安解消に

**問** 高齢者独り暮らし等への食料品の配布、体調異変の連絡がスムーズか。

**答** 町長 町民感染者の個別情報を把握することはできないが、保健所と連携し不安解消に。

**問** 10歳未満のお子さんへの接種を悩む保護者には。

**答** 町長 小児ワクチン接種は発症や重症化予防への効果が期待できることから勧奨している。

**問** 生活困窮者資金制度の利用は。

**答** 町長 42件、2,885万円だ。

### これも質問

**問** 複式学級が引き起こす問題と課題は

**答** 非常勤講師を活用、学年別学習の機会を確保する

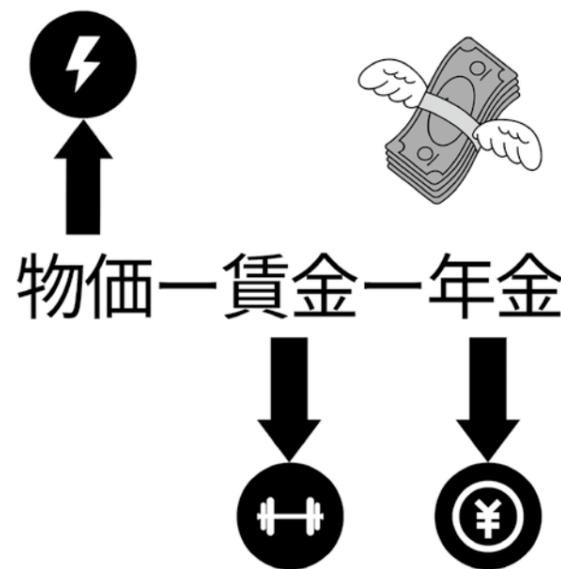
**問** 第3次男女共同参画プラン策定業務の進捗は

**答** 基本方針、基本目標の設定に着手した



岡本 貴士 議員

## 物価上昇で苦しむ町民へ対策を財源の確保、企業誘致を強化



賃金が下がると年金も減る!?

**問** 町民の84・0%の方が物価上昇を「とても感じる」と答えた(令和4年7月12日新聞チラシによる独自調査)。この結果に対する町長の考えを伺う。現在の日本は、賃金が上がらない悪い物価上昇が起きていると言われている。年金制度改正法で、物価が上がっても賃金が下がれば、年金も減らされてしまう。国には頼れない。物価上昇で苦しむ町民へ町独自の取り組みを行うべきである。

**答** 町長 今後とも、この物価上昇が続けば、家計はもとより企業活動や自治体運営に大きな打撃を与えるものと、非常に心配している。財源を確保するために、本町の高速交通網を活かして、全力で企業誘致を強化したい。

## 大雨災害に不安、町民へ安心感を命を守る行動を周知していく

**問** 町民の声「大雨災害のニュースを見て、不安を感じる」をお預かりした。このような不安を抱く町民に対する町長の考えを伺う。

**答** 町長 日頃より河川の氾濫による浸水や土砂災害等の危険想定区域及び避難場所等をハザードマップで確認し、危険が迫った場合に命を守る行動が取られるよう改めて周知していく。

### これも質問

**問** 農地の基盤整備を進めてほしい(町民の声)

**答** 相談があれば対応していく

**問** 町の広聴活動への取り組みは

**答** 広聴機会の充実に取り組んでいく



半澤 高議員

## コロナ感染状況は非常に憂慮すべき事態だ

**問** 第7波と呼ばれる新型コロナウイルス感染症の感染拡大現状と対策をどのように考えているのか伺う。

**答 町長** 町内においても新規陽性者数が急増しており、いつだれが感染してもおかしくない状況にあり、非常に憂慮すべき事態と捉えている。今後、基本的な感染防止対策や速やかなワクチン接種など、県の「B A5対策強化宣言」の9項目からなる対策を周知徹底していく。

**問** 抗原検査キットの無料配布の考えはあるか。

**答 町長** 国の法律緩和方針により、8月29日から、65歳未満の有症状者で、基礎疾患がない、妊娠していない等、重症化リスクの低い方や濃厚接触者を対象に抗原検査キットの無料配布を実施している。

**問** オミクロン株対応ワクチンの接種は。

**答 町長** 初回接種完了者（2回接種済者）全員に対して実施するため、今定期例会に関連予算を計上した。

令和4年  
10月5日発行  
No.20

### 新型コロナワクチン接種情報

#### 《オミクロン株対応ワクチン接種について》

オミクロン株対応ワクチンの接種が10月1日から開始されました。対象は、2回目接種を完了した12歳以上の方で最終接種日から5か月経過した方です。

3・4回目接種券がすでに手元にあり、接種がまだお済みでない方より予約を行ってください。それ以外の方は、下記のスケジュールで接種を開始します。

◆接種の流れ

10/11~

①接種券発送開始

前回接種日より5か月経過したから順に接種券を発送します。

②予約

接種券が届いた方から予約を行ってください。

電話、Web、LINE

③接種

やすらぎ園、親月台文化センター、町内医療機関

新ワクチンの接種が10月1日からはじまりました



岩崎 久男議員

## 保育所民営化は撤退すべき 予定通り進める

**問** 町立醸芳保育所をなぜ廃止しなければならないのか、町営ではなく民営化なのか、明確に示すこともなく既定の事のように進めている事を批判し、町営保育所の存続を求めてきた。最も重要な点であることから、十分な説明を求めます。

**問** 保育所民営化は撤退すべきと考えるが所見は。

**答 町長** これからの幼児教育・教育のあり方に関する町の方針に基づき予定通り進めていく。



安心して預けられる保育所でなければ

**問** 社会問題となっている宗教団体との関わりがあっても移行する考えか。

**答 町長** 社会福祉法人松葉福祉会理事長が来庁し、事実関係の説明を受けたが運営上問題ないと判断した。

## 福島北道路を桑折まで 国等へ要望を重ねていく

**問** 本年3月に国土交通省が発表した「4号国道 福島北道路」の構想は「福島西道路（国道13号線）の北伸」と同様の考えに基づく構想か。

**答 町長** 同じ整備構想であると認識している。

**問** 終点を桑折町まで伸ばして渋滞緩和等や町発展につなげるべきではないか。

**答 町長** 国土交通省において地域のネットワークの課題調査を進めているところであり、国道4号の渋滞緩和や陸合地区の振興、伊達桑折IC周辺の複合型流通業務地形成に資するべく道路の終点を桑折町としていたただけるよう機会を捉え国等へ要望を重ねていく。

### これも質問

**問** 蚕糸跡地スーパー周辺の交通安全対策は

**答 町・事業者・警察の三者で協議を進めている**

## 原発事故被害は終わっていない 原子力に依存しない

原発事故から11年目を迎えて、国・東電は原発事故被害はもう終わったかのよう被害者への支援策を次々と打ち切っている。ゼロカーボンを口実に、原発回帰を表明している、所見を伺う。

**問** 生業訴訟の今後の闘いは、第2陣に舞台は移るが、今回の最高裁判決の誤りを徹底して立証していく。同時に裁判外の運動でも世論に訴えながら、原発被害の本人にある国民のくらし、

いのちを軽んじる国を追い詰めていく事に力を尽くす。仮に「対策しても事故は防げない」そんな原発は今すぐ辞めるべき、最高裁判所の判決から導かれると思うが所見は。

**答 町長** 原子力に依存しない、安全安心で持続可能な循環型社会を目指す本町においては、「桑折町再生可能エネルギー導入推進計画」に基づき、地域特性に合った再生可能エネルギーの活用を推進していく。

### これも質問

**問** 汚染水の海洋放出は反対すべきだ

**答** 丁寧な説明と理解を求めた上で進めるべき

**問** 東電に対し今後の損害賠償請求は

**答** 粘り強く交渉を進めていく



齋藤 松夫 議員

# 町営方針知ったうえでの民営化提案が 応募事業者のことで承知してない

**問** 松葉福祉会理事長は福島市議でもあり、桑折町の「第二期子ども子育て支援事業計画」のことをよく知っているはず。その中で「今後も幼稚園や保育所は町営でやっていく」方針であることも分かっていたはずだ。それでいて蚕糸跡地利活用で「民営化方針」を提案してきたのはなぜか。町の方針転換を予測していたからではないのか。

**答** 町長 提案経緯については、公募型プロポーザル実施要領を踏まえ、事業者が応募してきたものであり、承知しております。



民営化方針などどこにもない計画書

## 民営化の理由説明なぜやらぬ 冒頭の挨拶で述べたとおりだ

**問** 町の説明会に町民が求めていたのは、「いまなぜ民営化なのか」であった。それにもかかわらず、このことへの説明も資料もなく、認定こども園の説明ばかりであった。なぜいま民営化なのかについての説明を行わないのであれば、「道理なき民営化」を自ら裏付けることになるがどうか。

**答** 町長 説明会冒頭のあいさつで、施設の老朽化や多様な保育ニーズへの対応、安定かつ効果的な運営に資する。若者定住促進、効果的財政運営の視点から民間に移行すると述べたところである。

### これも質問

- 問** 統一教会との関係は
- 答** 信者ではなかった
- 問** 町長特別授業は理解できぬ
- 答** 教育課程外で実施
- 問** 大雨対策に万全を
- 答** 鋭意検討する

# 「議会」と「議会モニター」との懇談会 議会モニターさんからの意見(敬称略)



酒井 真理子

①もっと若い人も参加できるといい。会議中の議員の私語？気になる。  
②特になし  
③議会をネットで傍聴した。その流れで議会だよりは作られているが、質問が多く読むだけだと伝わりにくいかも。読み手が興味と関心を持つまでは大変です。

- ①議会との意見交換を終えてのご意見・ご感想
- ②議会活動全般に対し望むこと
- ③「議会だより」への感想・意見等

川村 滋道



①各モニターさんのそれぞれの感想が述べられました。私は、コロナで地域の議員との懇談会が開催されない事への復活を要望しました。  
②全議員が毎回の議会で全員が質疑をする事を望みます。  
③写真が多用され、文字の大きさも改善されてきたと思います。議会傍聴やNET視聴できない町民の為に議会ごとのダイジェスト(トピックス的な要約)を紹介されたいかがでしょうか？

佐々木 明



①我々の意見を代表して、町に伝えてくれる多くの議員と意見交換が出来て、大変有意義でした。各議員が得意とされる分野があるように見受けられますので、もっと議員と意見交換したかった。  
②住民と情報を共有しているのですか。情報提供ではなく共有を、行政からの提案だけでなく、議会からの意見を審議して戴き政策提言をして頂きたい。  
③議員各位の活動状況の内容と経過結果について掲載してありますが、夏号は、各委員会の開催された日時は解るが、何を審査したかわからない。議会HPに載せている形式にしてください。

穴戸 守



①懇談は議題を整理して進めるべきだ。  
②議場での傍聴人を増やす取り組みを進めて欲しい。議会に関心を持つ人を増やす事にもなる。  
③議会で使う言葉の分かり易い説明をもっと増やした方がよい。

津田 健一



①保育所問題で様々な意見や反対意見も聞こえるが、子供たちの育ちに良い環境を望む。  
②議員の態度が悪い(傍聴時寝ているようだ)  
同じ内容の質問、答弁も同じ。無駄が多い。  
③誤字の印刷に恥ずかしい思いをした。きちんと校正して。  
政務活動費が「0」活動をしていないのか。

二階堂洋子



①意見交換にはならなかった。議員の方も話すのが億劫なのかな。  
②頑張っているのは分かりましたが、同じような質問は勿体無い。  
③いろんなことが聞けた。「除雪の事」「レガールこおり」のプロデュース料等結果が知りたい。

吉田 良崇



①欠席  
②こおりまちが住みよい自慢の町になってくれるように働いていただければ何も問題はないかと思えます。  
③やはり議会だよりに対しても、まだまだ興味なしという方々が多数いるのが現状では？どうしたら興味をもってくれるか、まだまだ話し合いが必要と考えられます。

山川多美子



①期待して臨んだが何の意見交換だったのか、議員の顔が見えず消化不良に終わる。目的のある会の進め方を希望する。  
②「住みたい町ランキング」で桑折が2位。町民に伝わらない。広報が足りないのでは。  
③町の全てが詰まった内容から知る事ができる。

議員活動状況報告

令和4年6月定例会報告以降

活動状況	対象者
議会定例会・臨時会	
6月14日～6月20日 令和4年第5回議会定例会	全議員
7月11日 令和4年第6回議会臨時会	//
議会全員協議会	
6月14日～6月20日、28日、7月8日、11日、8月9日	全議員
定期監査・決算審	定期監査・概況報告
7月21日、22日、25日、27日、28日、29日	8月2日、4日
監査委員	
例月出納検査	
6月24日、7月19日、8月19日	監査委員
公立藤田病院議会	
6月22日 公立藤田病院議会全員協議会	選出委員
7月5日 令和4年度第2回公立藤田病院議会臨時会	//
福島地方水道用水供給企業団組合議会	
8月17日 福島地方水道用水供給企業団組合議会定例会打合せ	議長
福島県後期高齢者医療広域連合議会	
7月4日 打合せ	議長
7月15日 運営協議会・定例会	//
福島県議事会	
8月23日 福島県議事会正副会長会議	議長
福島県町村議会議長会	
6月29日 福島県町村議会議長会正副議長会議	議長
// 福島県町村議会議長会理事・監査合同会議	//
7月29日 福島県町村議会議長会正副議長会議	//
// 福島県町村議会議長会理事・監査合同会議	//
// 福島県町村議会議長会要望活動	//
8月23日 令和4年度福島県町村議会正副議長・事務局長研修会	正副議長
8月24日 福島県町村議会議長会要望活動	議長
伊達郡町村議会議長会	
6月29日 伊達郡町村議会議長会議・懇談会	正副議長
その他行事	
6月17日 桑折シェアオフィス「Hatch」開所式	議長
6月19日 第4回半田山愛草会総会・親睦会	//
6月21日 桑折町建設業組合第44回通常総会・親睦会	//
7月2日 歴まちサンボシンポジウム	//
7月6日 行政視察研修(棚倉町議会来庁)	//
7月12日 福島県縦断駅伝競走大会桑折町実行委員会	//
7月14日 行政視察研修(宮城県亘理町議会来庁)	//
7月19日 経済産業省資源エネルギー庁来庁	//
7月30日 ピーチリパーク157 OPENING EVENT	//
// 諏訪神社例大祭	//
8月1日 「献上桃」選果・箱詰式	//
// 自治体DX推進トップマネジメントセミナー	正副議長
8月26日 ふれあい・いきいきサロン「やわたサロン」勉強会講師	議長
8月29日 ふくしん桑折信友会講演会	//

詳しくは、こちらから



議員辞職

岩崎久男議員  
令和4年9月13日付議員  
辞職願が提出され、同日、  
議長が辞職を許可した。

自動失職

齊藤 謙議員  
町長選挙に立候補したた  
め、公職選挙法第90条の規  
定により9月20日付で町議  
会議員の職は自動失職した。

訂正

夏号に誤りがありました。  
訂正してお詫びします。  
P.26  
・川村モニターの名前  
誤↓慈 正↓滋、  
・津田モニターの文  
誤↓モミニュテイ  
正↓コミニュテイ  
・山川モニターの文  
誤↓こちらからもっと  
正↓こちらからもっと  
以後注意していきます。  
申し訳ありませんでした。

令和3年度 議会費決算概要

議員報酬及び期末手当	43,795,120円
共済組合費負担金(年金分) ※制度改正により現議員は対象外	11,308,320円
職員人件費	16,313,442円
需用費(議会だより印刷製本費外)	1,658,424円
その他(旅費、交際費、使用料、負担金等)	4,197,891円
計	77,273,197円

令和3年度 議長交際費支出状況

会費 (各種団体総会等)	6件	23,000円
慶祝 (百歳高齢者賀寿祝金)	5件	50,000円
合計	11件	73,000円

令和4年度  
議会報告・意見交換会のお知らせ

※感染防止対策を行って実施します。  
皆様には、マスク着用をお願いします。

- 開催月日 令和4年10月末日～11月上旬  
午後7時～9時
- 開催場所 各地区公民館  
全議員でお待ちしております。

・詳しくは、各戸配布のチラシでお知らせ致します。

桑折町議会

おめでとうございます

この度の町議会議員補欠選挙で次の方々  
が当選されました。  
詳しくは、冬号の中で紹介します。

- 石幡 政子氏
- 羽根田 ひとみ氏 「50音順」

# 町民の声

議会広報委員会では発行後、各地区数名の方々にアンケート調査にご協力を頂いております。皆様からの率直な生の声として、「町民の声」のページに掲載しております。わかりやすい、伝わる紙面づくり、編集に生かさせて頂きます。

## 「議会傍聴」から

- ・ 初めて 2名
- ・ 1、2回傍聴した 4名
- ・ 最初の答弁時、少し早口の様でした。
- ・ もう少し、ゆっくり話された方が良かったと思います。 (70代女性)

## 「議会だより」アンケートから

- ・ 毎回読む 7名
- ・ 目にした時に読む 4名
- 「議会だより」を読んで気づいた点・要望など
  - ・ 写真と記事がわかるように番号をつけてくれるとわかりやすい。
  - ・ 今話題になっていいる問題がわかってよい。

## 福島大学ゼミ生からの意見

- ・ 発言内容に疑問が残る点もあったが、だいたいい分かった。
- ・ 目的が明らかかな上での発言はとても分かりやすかった。回答は分かりやすいもの多かった。
- ・ (20代女性) 専門的な内容のため理解するのは難しかった。かわしいことは分からなかったが、伝えたいことは分かった。
- ・ (20代女性) 資料を見ながらで、だいたいのはわかりました。
- ・ (20代男性)

## (60代女性)

- ・ 認定こども園に関して、教育委員会での検討の経過は充分であったのか。伊達市の様な事は無いのか。
- ・ 少子化の中での結婚問題、特に農家後継者

## (70代男性)



色づいたザクロ

## 編集後記

ふとどこからともなく漂うキンモクセイの香りに足を止めてしまう(花言葉は「謙虚」)。

朝夕の冷え込み、赤トンボ、虫の音、秋の果物と…五感をフルに働かせ、秋を感じてみませんか。

「秋号」の編集を無事に終える事ができホッとしている。編集作業も今回は3人体制でしたが、チームワークもバッチリ、予定通りの発行となった。編集委員の願いは、どんな内容が書かれているのか、関心を寄せ、手に取りページをめくっていただく事です。

川名静子

### ■広報広聴常任委員会 編集委員

委員長 川名静子 委員 佐藤榮三  
副委員長 鈴木隆志

## まちの歳時記

～小さな花だが存在感が…キンモクセイ～



## 議会だより

令和4年10月7日発行

発行 福島県伊達郡桑折町議会  
責任者 片平秀雄  
編集 議会広報広聴常任委員会  
電話 (024)582-2113  
印刷 株式会社日進堂印刷所

<http://www.town.koori.fukushima.jp>